

1 事業名 映画から学ぶ 映画人による講演と関連作品の上映

2 実施期日 令和5年10月2日(月)～10月4日(水)

3 対象学年 市内中学1～3年生

4 参加人数 904名

5 参加校数 中学校3校(第二中、第四中、第六中)

6 事業内容

中学校の体育館に大型スクリーンを設置し映画を鑑賞するとともに、鑑賞後には、制作に携わった監督やプロデューサー等による講演を行うことで、子どもたちが作品をより深く理解し映画の素晴らしさを知るとともに、第一線で活躍する映画人に触れることで、憧れや感動する心を育てます。

- ・講師 板屋宏幸 氏(映画監督) ゲスト 三遊亭歌彦 氏(落語家)
- ・作品 「もういちど」板屋宏幸監督作品
- ・会場 開催校の体育館

7 アンケート結果(参加生徒)

○参加してとてもよかった・よかったとの回答の割合 97%

8 参加者の主な意見

○映画の撮影裏の大変さや監督の努力を知って、自分も諦めずに夢に向かって頑張ろうと思った。落語の実演では、とても楽しくオチの作り方等知れて良い経験になった。

○将来どんな仕事についてとしても、人々の幸せのために一生懸命がんばれる人になりたいと思いました。

○今回の監督さんの講演で、監督さんのいろいろな言葉に胸を打たれました。特に監督さんが映画監督は無理だと思っていたのに、いきなり心が変わって、映画監督になれて「夢は追い続ければ叶う」という言葉をおっしゃっていて、自分はプロ野球選手になりたいから、これからも強く夢を追い続けたいと思いました。落語では、凄い人にしかできないなど最初に思いました。聞き手の気持ちを考えながら、覚えた物語を聞き手にしっかりと伝えていることができて、すごいなと思ったからです。自分も周りの人を笑顔にすることをしたいけど、難しそうだなと思いました。

○「もういちど」では、定吉が落語を通じて元気になっていくシーンがあって、落語はあんなにも人を元気にしてくれるものなのだと感心しました。また、落語の実演では、色んな面白い話をして下さり、あんなにも笑ったのは久しぶりでした。今日は、楽しい体験をありがとうございました。